

山内支えあいたい通信

令和2年1月1日 第3号 発行/さんない生活支えあいたい

今年度の活動状況

★増田町狙半内地区

「共助運営体による送迎サービス」の視察と懇親会

★デマンド交通の情報提供（2か所）

★小ネットワーク会議への参加と情報収集

※その他、毎月1回の話し合いの場を設けて、地域の困りごとの課題解決に取り組んでいます。

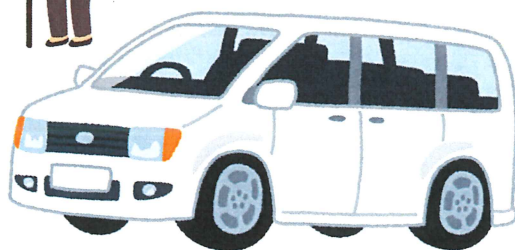


7/20 増田町狙半内の送迎サービス見学

増田町狙半内の共助組織ではミニワゴン車で送迎サービスを行っています。交通手段をもたない高齢者は、「送迎サービスは家の近くで乗り降りができる」と、大変喜んでいます。利用する方が増えたことで地区の見守りに繋がり、10年・20年後を見据えた地域共助を目指しているとのことでした。



山内地域でも外出や通院に不便を感じている方が大勢おられます。「いつまでもここで生活したい」を実現するために、地域内での共助の必要性を感じます。



日々の暮らしにおいて、「支えあい」を意識せず、何気なく行っている方もいることでしょう。当たり前と捉えがちなこの「支えあい」こそが地域の宝であり、みんなが意識していかなければならないと思います。

狙半内や他地域の活動状況を参考にしつつ山内のできる「支えあい」の工夫や知恵を見つけないと思っています。

生活支援コーディネーター 高橋弘子



山内支えあいたい構成員が地域の活動を紹介します！

地域での様々な行事や交流は、住み慣れた地域で元気に楽しく暮らすための「地域の宝物」です。支えあいたい構成員が地域で行われている活動や、地域の良いところを情報発信していきます。

三又地区：グランドゴルフの練習場が完成しました。

葉タバコ生産農家で葉タバコの乾燥場として使用していた土地を整地して、用具を買い揃えました。

また、地域有志の会である「三又麓友会」の協力も得て8月、貝沢地区にグランドゴルフ練習場が完成しました。

他にも練習場はありますが、三又地域からは距離があり練習に参加する方は限られていました。

地域内に練習場ができたことにより未経験の方も多数参加するようになり、健康維持や一人暮らし高齢者等の孤立解消になっています。

来年は雪が消えたらすぐにプレーできるとみんなで春を待っています。

【支えあいたい構成員：三又地区 高橋幸村】



黒沢地区：いきいきサロンが開催されました。

11月10日、毎年恒例の「芋の子会」が黒沢会館で開催されました。参加者が持ち寄った芋の子を使い、参加者が一緒に醤油とみそ味の芋の子汁を作りました。

地区会長あいさつでは、今年の敬老会で米寿のお祝いを受けた方が1名いることや、花壇コンクールで県知事賞を受賞したことなどが紹介されました。その後芋の子汁がふるまわれ、参加者の皆さんは満面の笑みを浮かべおいしい芋の子汁を堪能し、楽しく語らいながら充実したひと時を過ごしていました。

近年は引きこもりや居場所づくりが問題視されていますが、黒沢地区では皆が集まるこの時間が大切な交流の場となっており、「今日はおもしろかったな」とうれしい声を聞くことができました。

次回は「写経」や「DVD鑑賞」を予定しています。

【支えあいたい構成員：黒沢地区 鎌田悦子】

